

相澤病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	救急外来ウォークイン患者における病院救命士と看護師による JTAS を用いた院内トリアージの比較検討：単施設後ろ向き観察研究 (承認 No. 2025-095)
当院の研究責任者 (所属・職名・氏名)	救命救急センター・医長・杉本龍
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	当院では全国有数の数の病院救命士が救命救急センターに在籍しています。卒前教育の内容を踏まえると、トリアージ教育を受けている病院救命士は、看護師よりも適切なトリアージを行う可能性があります。しかし、救急外来において病院救命士と看護師が行うトリアージを比較した研究は非常に少ないです。 この研究では、当院の救急外来で、病院で働く救急救命士（病院救命士）と看護師のどちらが院内トリアージを行った場合に、患者さんにとってより有益な結果（とくに帰宅となった患者さんの救急外来での滞在時間の短縮）につながっているかを比較・検討することを目的としています。その結果は救急外来におけるトリアージ体制の最適化や、人材配置・教育方針の改善に繋がる可能性があります。
調査データ 該当期間	2023年10月1日～2025年10月1日までの情報を調査対象とします
研究の方法 (使用する試料等)	この研究では、過去に当院の救急外来をウォークインで受診された患者さんのうち、病院救命士または看護師がトリアージを行った方を対象に、診療記録に残っている情報を用いて比較・解析を行います。 具体的には、帰宅となった患者さんの救急外来での滞在時間を、トリアージを担当した職種（病院救命士か看護師か）ごとに比較します。また、救急外来滞在時間に影響すると考えられる年齢、性別、トリアージレベル、検査（採血、画像、エコー）の有無や検査件数、認知症・精神疾患・脳卒中といった既往症、最終診断名の分類、トリアージを行った者の経験年数、診察した医師の経験年数、トリアージに要した時間、トリアージの時間帯（受診時刻）、平日か休日か、可能であれば救急外来の混雑指標（平均患者数、ベッド占有率など）といった項目もあわせて確認し、救急外来滞在時間との関係を検討します。 ●研究期間：2025年12月16日～2028年4月1日
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません
個人情報の取り扱い	利用する情報から個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報などの個人情報を削除して患者さんを直接特定できる情報は削除致します。また、研究成果は学会・論文等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

様式 16

本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	相澤病院 救命救急センター 医長 杉本龍 Tel : 0570-03-3600(ナビダイヤル)
備考	